



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月24日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エンプラス

コード番号 6961 URL <https://www.enplas.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼経営執行役員 (氏名) 堀川 裕司 TEL 03-6268-0259
財務経理本部 本部長

四半期報告書提出予定日 2020年2月7日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	23,789	0.0	1,645	6.7	1,616	△12.4	1,464	33.6
2019年3月期第3四半期	23,781	△7.4	1,542	△59.1	1,844	△48.8	1,096	△56.9

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,346百万円 (21.1%) 2019年3月期第3四半期 1,112百万円 (△64.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	117.66	117.56
2019年3月期第3四半期	85.67	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	56,619	51,734	90.1	4,139.78
2019年3月期	56,656	51,606	90.4	4,017.45

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 51,039百万円 2019年3月期 51,212百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	40.00	-	15.00	55.00
2020年3月期	-	15.00	-	-	-
2020年3月期 (予想)	-	-	-	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,000	2.3	2,000	15.2	2,000	6.5	1,800	440.5	146.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	18,232,897株	2019年3月期	18,232,897株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	5,903,775株	2019年3月期	5,485,416株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	12,444,865株	2019年3月期3Q	12,795,145株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、2020年1月24日（金）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては好調な雇用・所得環境を背景に内需が底堅く推移しました。また、米中貿易交渉は第一段階で合意したものの、製造業は依然として低迷が続いております。中国においては、米中貿易摩擦により米国向けの輸出が減少し、消費者物価の上昇が消費を押し下げていることから、依然として先行き不透明な状況が続いております。新興国・地域では、米中貿易交渉が第一段階の合意に達したことにより、株安・通貨安から持ち直しの兆しが見られます。わが国経済は、雇用・所得が引き続き回復基調にあることや、設備投資が増加基調にあるものの、個人消費は消費増税に伴う駆け込み需要の反動で低調に推移し、景気に足踏み感が見られます。また、米中貿易摩擦の行方や、米国とイランの対立激化など当社を取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、更なる成長を目指すため、「現場を大切に、足元を固める」を今期の経営基本方針とし、グローバル競争の激化を始めとする環境の変化に迅速に対応することで企業価値の向上及び株主価値の最大化を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は23,789百万円（前年同期比0.0%増）となり、営業利益は1,645百万円（前年同期比6.7%増）、経常利益は1,616百万円（前年同期比12.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,464百万円（前年同期比33.6%増）となりました。

各セグメントの概況は次のとおりであります。

「エンプラ事業」

プリンター用部品は、国内主要顧客からの受注が減少しました。また、その他エンプラ製品は顧客の生産調整などの影響を受け、低調に推移しました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,930百万円（前年同期比9.9%減）、セグメント営業損失は598百万円（前年同期は148百万円のセグメント営業利益）となりました。

「半導体機器事業」

世界の半導体市場が回復基調にあるなか、各種ICテスト用ソケット、バーンインソケットは、米国、中華圏におけるサーバーやモバイル用途の販売が好調に推移しました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,730百万円（前年同期比21.5%増）、セグメント営業利益は1,717百万円（前年同期比161.7%増）となりました。

「オプト事業」

光通信関連の光学デバイスは、市場の競争環境の変化により低調に推移しました。LED用拡散レンズは、液晶テレビ市況の悪化と市場の競争の高まりを受けて受注が減少しました。当第3四半期連結累計期間の売上高は3,128百万円（前年同期比20.3%減）、セグメント営業利益は527百万円（前年同期比28.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は56,619百万円となり、前連結会計年度末比36百万円の減少となりました。流動資産につきましては273百万円増加しました。主な変動要因は未収還付法人税等で960百万円、受取手形及び売掛金で677百万円、製品で64百万円増加し、現金及び預金で1,423百万円減少したことによるものです。固定資産につきましては310百万円減少しました。これは投資その他の資産で521百万円、無形固定資産で381百万円減少し、有形固定資産で592百万円増加したことによるものです。

負債は4,884百万円となり、前連結会計年度末比で164百万円の減少となりました。流動負債につきましては133百万円減少しました。主な変動要因は賞与引当金で187百万円、買掛金で71百万円、未払金で70百万円減少し、その他で239百万円増加したことによるものです。固定負債につきましては31百万円減少しました。主な変動要因は訴訟損失引当金で474百万円減少し、その他で428百万円増加したことによるものです。

純資産は51,734百万円となり、前連結会計年度末比127百万円の増加となりました。主な変動要因は利益剰余金で1,336百万円、非支配株主持分で251百万円増加し、自己株式で1,306百万円減少したことによるものです。その結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は90.1%となり、前連結会計年度末比で0.3ポイント減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月18日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,405	23,982
受取手形及び売掛金	7,010	7,687
製品	983	1,047
仕掛品	572	622
原材料及び貯蔵品	1,425	1,458
未収還付法人税等	114	1,074
その他	1,319	1,237
貸倒引当金	△11	△19
流動資産合計	36,818	37,092
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,044	2,951
機械装置及び運搬具（純額）	1,806	1,556
土地	6,792	6,789
その他（純額）	1,520	2,458
有形固定資産合計	13,164	13,756
無形固定資産		
ソフトウェア	331	346
のれん	1,484	1,255
その他	445	276
無形固定資産合計	2,260	1,878
投資その他の資産	4,413	3,891
固定資産合計	19,837	19,527
資産合計	56,656	56,619

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,325	1,254
未払金	860	789
未払法人税等	328	296
賞与引当金	505	318
役員賞与引当金	40	28
その他	862	1,102
流動負債合計	3,923	3,790
固定負債		
退職給付に係る負債	45	59
訴訟損失引当金	474	—
その他	605	1,034
固定負債合計	1,125	1,094
負債合計	5,049	4,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,080	8,080
資本剰余金	7,569	7,562
利益剰余金	48,997	50,333
自己株式	△14,130	△15,437
株主資本合計	50,516	50,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	312	394
為替換算調整勘定	383	106
その他の包括利益累計額合計	696	501
新株予約権	262	311
非支配株主持分	132	383
純資産合計	51,606	51,734
負債純資産合計	56,656	56,619

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	23,781	23,789
売上原価	13,583	13,816
売上総利益	10,197	9,973
販売費及び一般管理費	8,655	8,327
営業利益	1,542	1,645
営業外収益		
受取利息	109	143
受取配当金	18	19
為替差益	324	—
スクラップ売却益	23	45
その他	42	107
営業外収益合計	519	314
営業外費用		
為替差損	—	153
固定資産賃貸費用	17	12
持分法による投資損失	195	142
その他	4	36
営業外費用合計	217	343
経常利益	1,844	1,616
特別利益		
固定資産売却益	6	46
訴訟損失引当金戻入額	—	380
その他	—	3
特別利益合計	6	430
特別損失		
固定資産売却損	1	13
減損損失	71	40
その他	1	0
特別損失合計	74	55
税金等調整前四半期純利益	1,776	1,991
法人税、住民税及び事業税	713	587
法人税等調整額	△71	△125
法人税等合計	642	462
四半期純利益	1,134	1,529
非支配株主に帰属する四半期純利益	38	65
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,096	1,464

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,134	1,529
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△132	82
為替換算調整勘定	134	△265
持分法適用会社に対する持分相当額	△24	0
その他の包括利益合計	△22	△182
四半期包括利益	1,112	1,346
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,074	1,269
非支配株主に係る四半期包括利益	37	77

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年1月4日及び2019年4月26日開催の取締役会決議に基づき、自己株式428,200株の取得を行いました。この結果、第3四半期連結累計期間において自己株式が1,332百万円増加し、第3四半期連結会計期間末において自己株式が15,437百万円となっております。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より一部の海外子会社においてIFRS16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用にあたり、当社グループは経過措置として認められている累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第3四半期連結貸借対照表において有形固定資産の「その他」が718百万円、流動負債の「その他」が201百万円、固定負債の「その他」が531百万円増加しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。